２９．６．８
杉並区広報課

まるごと台湾フェアを開催します

10日（土曜日）、セシオン杉並（梅里1丁目22番32号）で、台湾の魅力をまるごと紹介する「まるごと台湾フェア」を開催します。この催しは、杉並区と交流を深めている台湾の料理や特産品販売をはじめ、伝統音楽の演奏や映画上映などを通して、魅力を紹介するものです。

杉並区と台湾は、平成23年に区内の中学生による異文化理解・国際交流を目的に、「中学生野球交流事業」が始まって以降、区を代表するイベント「東京高円寺阿波おどり」の公演を台湾で行うなど交流を深めてきました。また、今年4月、台湾向けの動画「となり街・高円寺」をユーチューブから配信。台湾の若手女優ヤオ・アイニンさんが高円寺の街を巡りその魅力を伝えるもので、台湾国内で2万回以上の視聴回数を記録しています。

まるごと台湾フェアは、杉並区民にこうした縁を持つ台湾の魅力を知ってもらおうと、平成25年に始まりました。会場のセシオン杉並では、台湾料理のキッチンカーやタピオカカーなどの屋台をはじめ、パイナップルケーキや台湾雑貨などの販売。さらに、台湾の観光案内や杉並区との交流展など様々な視点で台湾の文化に触れることができるようになっています。

今年の一押しのイベントは、台湾映画「光にふれる」の特別上映です。主人公で生まれつき目の不自由なホアン・ユィシアンさんは、たぐい稀なピアノの才能を持ちながらも、幼い頃に起きたある事件がトラウマとなり、表舞台に立つことができなくなっていましたが、母親の深い愛や仲間との友情、ダンサーを夢見る少女との心の交流によって、光輝く夢に向かって飛翔していく実話をもとにした映画です。こちらの映画は、前売り券はすでに完売し、当日券がわずかに残るだけの大人気となっています。

【問い合わせ先】

杉並区交流協会：電話０３－５３７８－８８３３